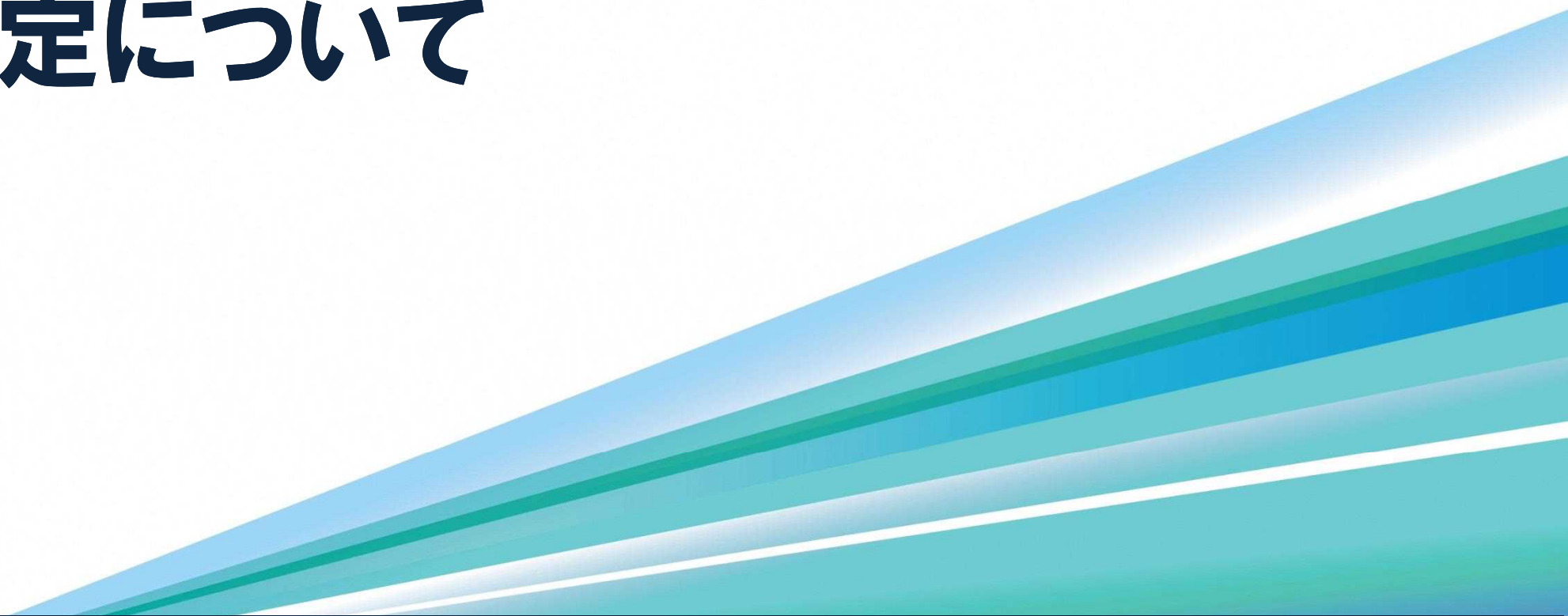


ふくしま水道事業ビジョン2026

（福島市水道事業基本計画2026）

策定について



ふくしま水道事業ビジョン2026策定

1. 目的

現行「福島市水道事業基本計画2016」の計画期間が、2025(令和7)年度で終了することから、次期計画を策定いたします。

この計画は、将来にわたる安全な水の安定供給の維持に向けて、長期人口減少社会に適応した水道事業の基盤強化を図る指針となるものです。

01 問題の背景

長期人口減少

施設老朽化の進行

02 具体的な課題

水需要の減少による水道料金収入減少

生産人口の減少による人材不足

更新等への多大な投資

相反する2つの問題の両立

地域全体が備えるべき水道インフラの在り方を見極める時期

水道事業の基盤強化

- ・ 新たな社会構造の変化に適応した水道インフラの再編
- ・ 持続可能性の高い事業経営の確保

次世代へ
確実にバトンをつなぐ

ふくしま水道事業ビジョン2026策定

2. 計画期間

2026(令和 8)年度～2035(令和 17)年度 (10 年間)

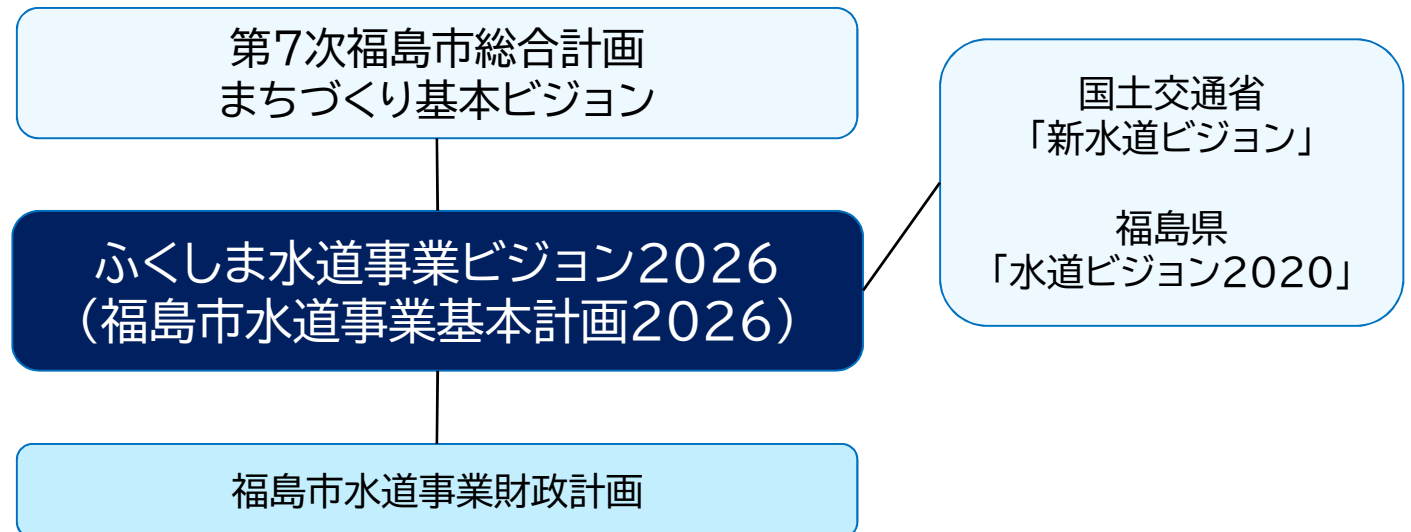
※技術革新等の社会情勢変化にあわせ、2031(令和13)年度に中間見直しを行う。

3. 計画の位置づけ

良質な水道水の安定供給を維持し、暮らしを支える安全安心のまちづくりに寄与していきます。

- ①上位計画との整合
 - ▶福島市総合計画
 - ▶国、県の水道ビジョン

- ②水道事業財政計画への反映



ふくしま水道事業ビジョン2026策定

4. 計画の概要

新基本理念(仮)「いのちの水を次世代へ 確かなバトンをつなぎます」

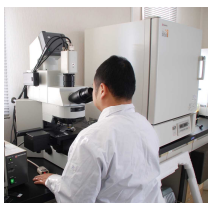
3つの“視点”と施策の主な“キーワード”

安全

市民が、いつでもどこでも、
水をおいしく飲める水道

水源汚染リスク対策
水道水質管理の徹底

など



持続

給水人口や給水量が減少した状況においても、健全かつ
安定的な事業運営が可能な
水道

適切な資産管理
広域連携・官民連携
人材育成
DX・ICT
脱炭素

など

強靱

自然災害等による被災を最小限にとどめ、被災した場合
であっても、迅速に復旧できる
しなやかな水道

施設の再編
災害への備え

など



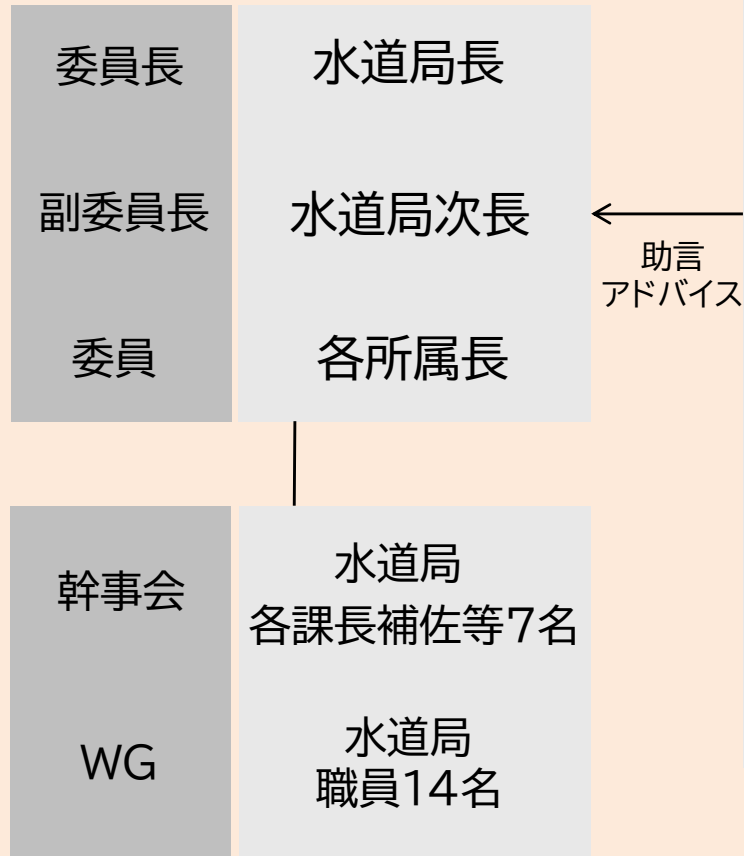
コストバランスを意識した計画立案

ふくしま水道事業ビジョン2026策定

5. 策定体制

市水道事業基本計画策定委員会設置要綱(H17.4)に基づく

策定委員会



環境省大臣官房サイバーセキュリティ・情報化審議官/サイバーセキュリティ確保・情報システム整備等担当
公文書監理官
(元厚生労働省水道課長)

外部有識者
熊谷和哉氏

市民の意見



①水道事業経営審議会



②市民アンケート



③パブリック・コメント

ふくしま水道事業ビジョン2026策定

6. 策定スケジュール

令和6年度											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		策定方針		現状分析	素案（骨子）作成		素案（骨子）とりまとめ				素案作成
			 市長・副市長説明①  策定委員会①  経営審議会①				 策定委員会②		 策定委員会③	 市長・副市長説明②  経営審議会②	
		市民アンケート調査									
						財政計画検討					

令和7年度											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				原案作成		計画策定					
 策定委員会④  市長・副市長説明③  経営審議会③			パブリック コメント			 策定委員会⑤  市長・副市長説明④					
								 12月議会 常任委員協議会報告			
財政計画検討											
			経営審議会（財政計画諮問）								